

平成29年度第4回こどもプロジェクト

開催日時：平成30年2月21日（水）10：00～

開催場所：広陵町総合保健福祉会館さわやかホール4階中会議室

出席者 大和高田市：金森さん、綾井さん、
香芝市：渡邊さん、片岡さん、高岡さん、大杉さん
葛城市：田中さん、江口さん、西川さん、倉田さん
西和養護学校：横澤さん
大淀養護学校：丸山さん
高等養護学校：佐々木さん
もちつもたれつ：大竹さん、東さん
しえ〜く：吉田さん
広陵町：佐々木、西田

1 児童支援に関する事例の検討

- ・不登校児童・生徒の放課後等デイサービスの利用について
- ・学童保育と放課後等デイサービスの併用について
- 各市町村とも個別に検討し、必要であれば認めるという結果だった。
- 出席日数のカウントについては、保護者と学校との協議した上で決定する。
- 放デイで出席日数がカウントされることを広く周知すると、悪用する事業所が出てこないか心配。
- 注意が必要な事業所がある。病気で休んでいる子どもを放デイに呼び、日数を稼いでいる事業所があるという噂を聞いた。

2 関係機関の連携に関するモデルケースについての報告

香芝市がひとつの小学校をモデルケースとして、障がい事業所と教育機関、福祉部門とのケース会議等を行い、連携していく方法を検討していることについて、現状の報告が行われた。

- 参加者：校長、教頭、特別支援学級担当、特別支援教育コーディネーター
相談支援事業所（3事業所）、社会福祉課担当、学校教育課担当
- まずは、関係機関が集まり、各担当の事業節目を行った。第2回から個々のケースについて情報交換を行った。
- 虐待事例であったため、知らない部署にもその内容が伝わってしまうので、出す情報には細心の注意が必要と感じた。（すべての情報をその場でオープンにすることは難しい。）

- 情報交換の条件として、保護者に書面で同意を貰っている。(すまいるノートに記載欄有)
- 教育部門と福祉部門が連携する取り組みが広がっていけば良い。
- 保護者自身が連携に非協力的な場合がある。

3 来年度の「こどもプロジェクト」の実施について

平成30年度は次の案件を検討していく予定。

- 葛城市のサポートブック作成を支援していく。
- 個別ケースについて、内容の検討を行う。

4 その他

平成30年度は大和高田市が事務局となり、こどもプロジェクトが開催される。